

# 風しんの抗体検査・予防接種を受けましょう！

～あなたが風しんの感染を拡大させてしまう可能性があります～

**クーポン券を利用すると、無料で受けられます**

裏面もご覧ください！



- ▶ 風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づき公的に行われています。しかし、公的な接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、**抗体保有率が他の世代に比べて低いため（※）、令和4年度から3年間、予防接種法第5条第1項の規定に基づく風しんの定期接種の対象者とし、クーポン券を送付しています。**

(※)令和元年7月から令和5年12月末までに抗体検査を受けた菰野町民の方2,358名のうち、705名の方に十分な量の抗体がありませんでした。**30%以上の方が風しんへの抵抗力がないという結果です。**

- ▶ 令和6年度は昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性のうち、令和5年12月末までにクーポン券の利用が確認できない方に送付しています(※)。

(※)すでにクーポン券を利用された方にも行き違いで本通知が届く可能性があります。ご容赦ください。

- ▶ **医療機関または職場等の健診にクーポン券を持参して、まず抗体検査を受けてください。**抗体検査の結果、十分な量の抗体がない方は、予防接種を受けてください。

**クーポン券の有効期限：抗体検査 令和7年2月28日(金)**

**予防接種 令和7年3月31日(月)**

抗体の量は血液検査で簡単に調べることができます。

## ～抗体検査・予防接種までの流れ～

令和7年2月28日まで

クーポン券を持って、医療機関または職場等の健診へ

抗体検査(血液検査)を受ける  
(クーポン券、本人確認書類が必要です)

抗体検査の結果を知る(※医療機関に結果を受け取りに行くこともあります)

抗体なし(陰性・-)

- ・風しんへの抵抗力がありません。
- ・風しんにかかるリスクがあります。

抗体あり(陽性・+)

- ・風しんへの抵抗力があります。
- ・定期的予防接種の対象となりません。

予防接種を受けましょう(無料)

(クーポン券、本人確認書類、抗体検査結果通知が必要です)

★クーポン券は全国の指定医療機関で使用できます。抗体検査・予防接種を受けられる全国の医療機関・健診機関のリストは、下のQRコードまたは厚生労働省のホームページからご確認ください。

事前に医療機関に予約の電話をし、当日はマスク着用を推奨します。また、体調がすぐれない日は検査を延期してください。

クーポン券(イメージ)

見本

★予防接種は、当日の体調や基礎疾患等で受けられない可能性もあります。また、接種後、副反応が発生するおそれもありますので、必ず医師と相談してください。

よくあるご質問

Q. どうして風しんの追加的対策を実施しているのですか？

A. 風しんは、感染者の飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつる、感染力が強い感染症です。妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群(眼や耳、心臓に障害が出ること)になる可能性があります。大人になって感染すると無症状～軽症のことが多いですが、まれに重篤な合併症を併発することがあります。また、無症状でも他人に風しんをうつすことがあるので、感染を拡大させないためには、社会全体が免疫を持つことが重要です。



風しんの追加的対策の詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

風しんの追加的対策

検索

お問い合わせ先 菰野町役場 健康福祉課  
〒510-1292 三重郡菰野町大字潤田1250番地  
TEL059-391-1126 FAX059-394-3423

# 風しんの予防接種を受ける方への説明

この予防接種は、風しん感染症の予防として予防接種法に基づき菰野町が実施するものです。抗体検査の結果、抗体なし（陰性、－）の方が、接種していただく予防接種は、麻しん風しん混合（MR）ワクチンです。下記の説明書をよく読み接種してください。（麻しん＝はしか）

## 麻しん風しん混合（MR）ワクチンの効果と副反応について

麻しん風しん混合ワクチンは、1回の接種で、麻しんおよび風しんに対する免疫を獲得することができます。

副反応の主なものとして、ワクチンの接種直後から数日中に、発熱、発疹などがみられることがあります。他に局所症状として接種部位の発赤、腫脹、硬結、疼痛や、リンパ節腫脹、関節痛、熱性けいれんがみられることがあります。

非常にまれですが、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫など）、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれん等の副反応がみられることがあります。

## 予防接種を受ける時の注意

- ・麻しん風しん混合ワクチンの必要性や副反応について不明な点がある場合は、予防接種を受ける前に医師に相談しましょう。
- ・受ける前日は入浴（またはシャワー）をして、体を清潔にしましょう。
- ・当日は体調をよく観察して、普段と変わったところのないことを確認してください。
- ・予診票は医師への大切な情報です。正確に記入するようにしましょう。

## 予防接種を受けることができない人

- ・明らかに発熱（通常 37.5℃以上）がある場合
- ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ・受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ・明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ・その他、医師が不適当な状態と判断した場合

## 予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない人

- ・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患がある人
- ・カゼなどのひきはじめと思われる人
- ・今までに、予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた人
- ・薬の投与または食事で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人
- ・今までに、けいれんを起こしたことがある人
- ・過去に免疫不全と診断されたことがある人および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ・麻しん風しん混合ワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある人
- ・家族、友人等の間に麻しん（はしか）、風しん、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）などの病気が流行しているときで、まだその病気にかかったことがない人

## 予防接種を受けた後の注意

- ・接種後 30 分間は病院にいるなどして様子を観察し、アレルギー反応などがあれば医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ・接種後 2～3 週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ・接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- ・接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。ただし、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ・高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。